



“地域のことは地域で考えよう”

2020年6月30日

おきぎん県内景況・速報 2020年5月

県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により後退しているものの、
底打ちしつつある

■個人消費

スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も下回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで下回る。

ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

■企業倒産

発生なし。

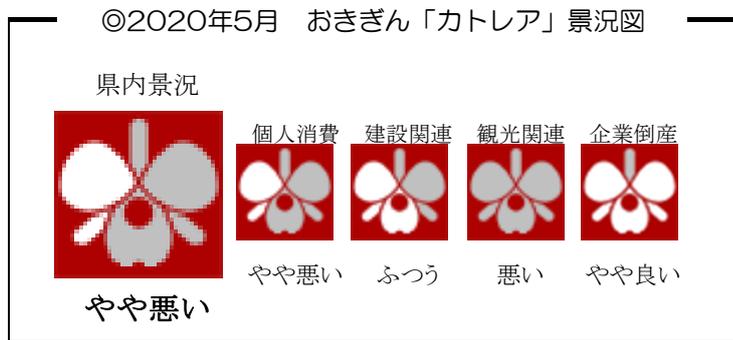
現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2020年5月分)



◎概況：県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により後退しているものの、底打ちしつつある

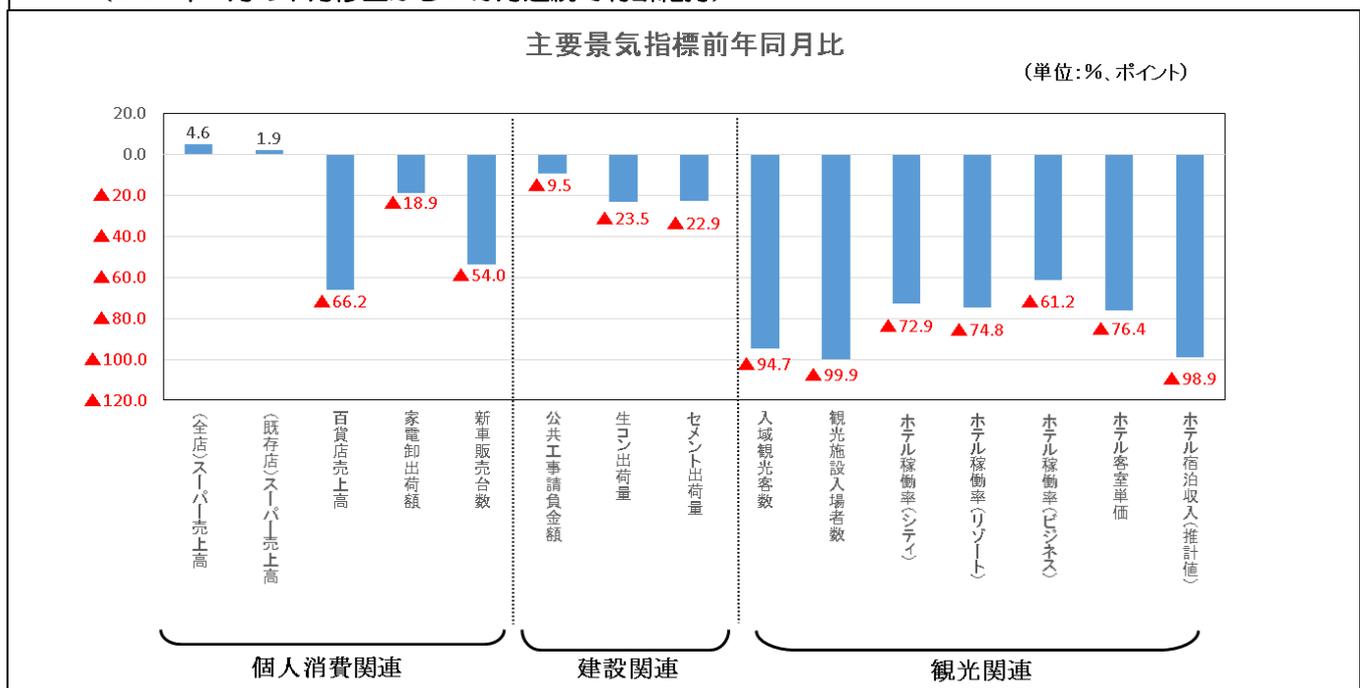
5月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を下回りました。新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は5ヵ月連続で前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連は弱含みがみられる中、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費に弱さがみられ、観光関連は非常に厳しい状況にあることなどから「**県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により後退しているものの、底打ちしつつある**」と景気判断を据え置きました。

(2020年4月の下方修正から2ヵ月連続で判断維持)



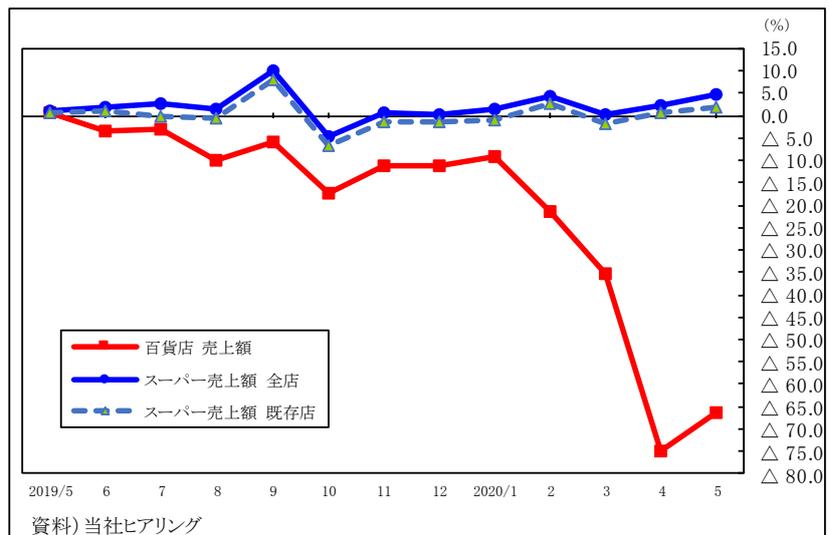


■ 個人消費： (やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2019/5	1.2	0.7	0.7
6	1.7	1.2	△ 3.6
7	2.5	r △ 0.02	△ 3.1
8	1.3	△ 0.5	△ 10.0
9	10.2	8.1	△ 5.9
10	△ 4.8	△ 6.6	△ 17.2
11	0.5	△ 1.2	△ 11.3
12	0.3	△ 1.5	△ 11.2
2020/1	1.4	△ 0.8	△ 9.3
2	4.5	2.8	△ 21.3
3	0.4	△ 2.0	△ 35.2
4	2.3	r 0.7	△ 75.1
5	4.6	1.9	△ 66.2



注) 前年同月比

5月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比4.6%増)」は、新規出店効果や、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛の動きなどから、「食料品(同7.9%増)」、「家庭用品(同2.2%増)」が伸び、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同1.9%増)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、食料品が伸び、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同6.1%増)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や学校の休校などにより、中食、内食需要が増加したことなどから、レトルト食品や調味料、生鮮食品など全般的に売り上げが伸び、前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同26.9%減)」、家電やドラッグ等の「家庭用品(同3.7%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により臨時休業や、インバウンド需要の減少、不要不急の買い物を控える動きが見られたことなどにより、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、緊急事態宣言が全国に拡大されたことによる営業自粛要請を受け、臨時休業や営業時間の短縮などがあり、12ヵ月連続で前年同月を下回りました(同66.2%減)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同66.3%減)」や、バッグ等の「身のまわり品(同70.5%減)」、「家庭用品(同71.3%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による臨時休業や営業時間短縮の影響により、前年同月を下回りました。「食料品(同50.3%減)」は、時間短縮により営業を継続したものの、催事・販促企画等は実施せず、また、他の売り場が休業したことなどから買い回り客が減少し、前年同月を下回りました。靴、化粧品等の「雑貨(同48.8%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大によりインバウンド需要が大幅に減少し、前年同月を下回りました。

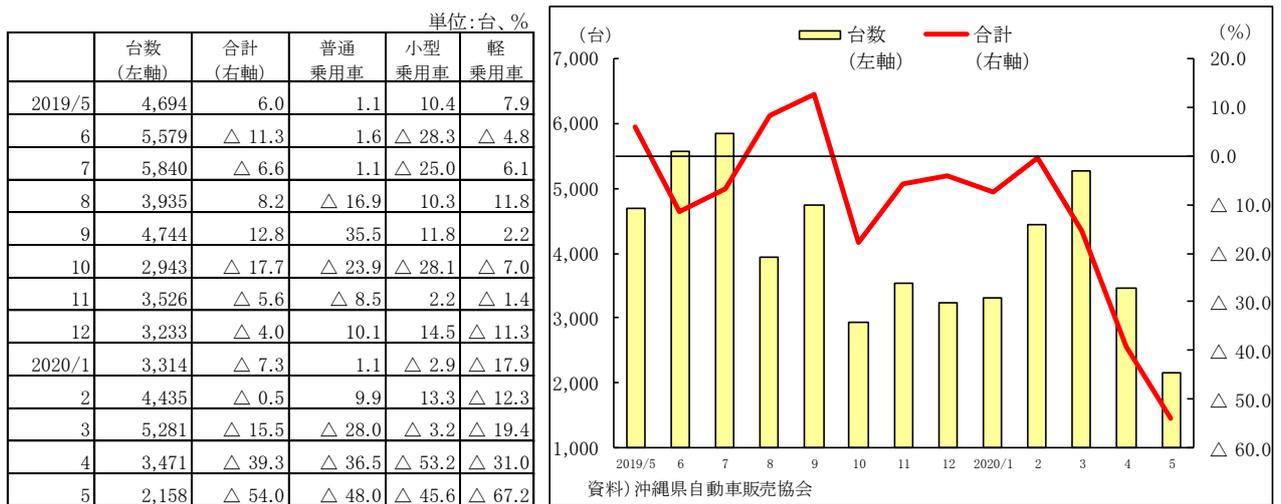
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は3ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、テレビ、エアコンを中心に、全般的に売上が伸びず、3ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 18.9%減)。品目別では、「エアコン(同 24.6%減)」、「洗濯機(同 14.7%減)」、「電子レンジ(同 14.7%減)」、「冷蔵庫(同 0.4%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、不要不急の買い物を控える動きがあり、前年同月を下回りました。「テレビ(同 32.9%減)」は、在庫が不足したことなどから、前年同月を下回りました。「その他家電(17.1%減)」は、インバウンド向けの美容関連製品や、ホテル等の業務用需要が減少し、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、8ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

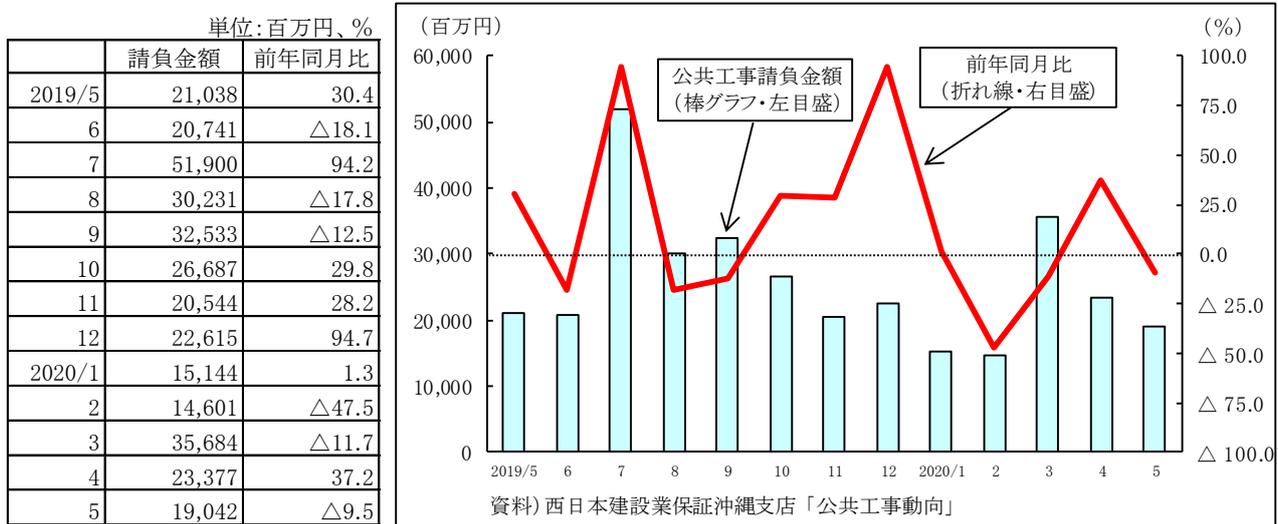
新車販売台数は、全体で2,158台(同 54.0%減)となり、8ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同 48.0%減)」、「小型乗用車(同 45.6%減)」、「軽乗用車(同 67.2%減)」は、自家用車需要、レンタカー需要ともに減少し、普通乗用車、小型乗用車は3ヵ月連続、軽乗用車は8ヵ月連続で前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

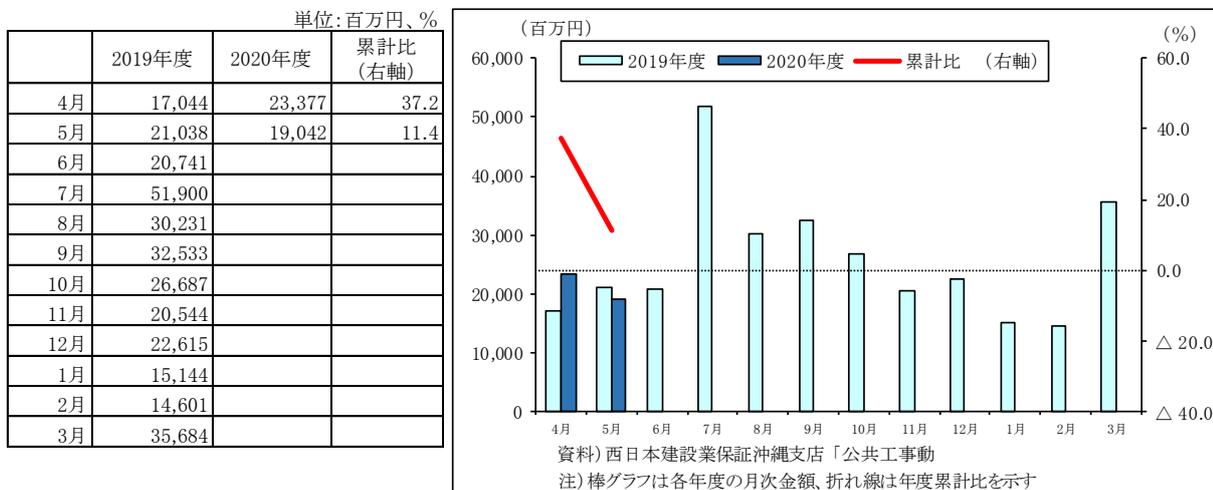


■ 建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



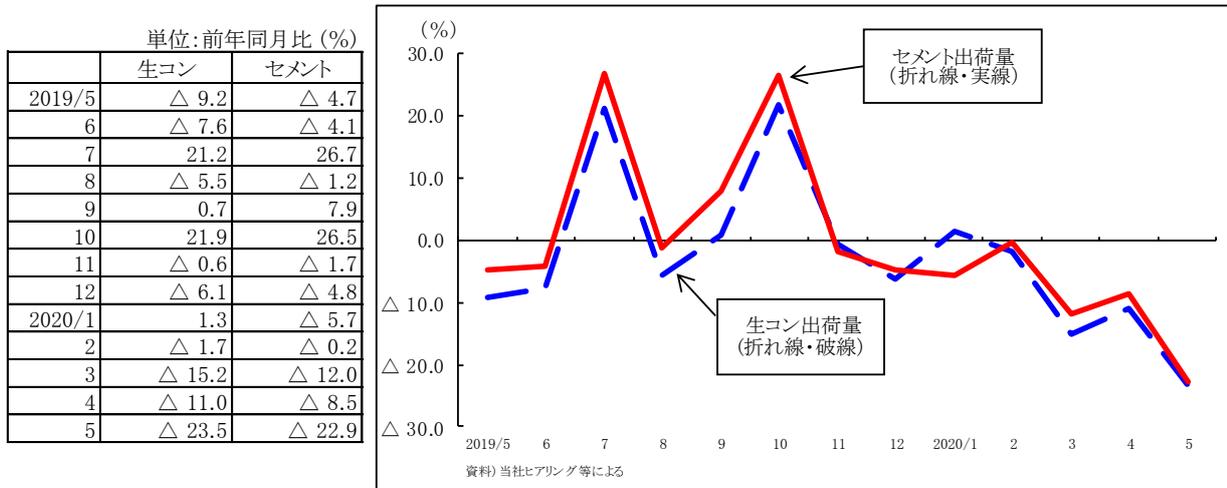
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



5月の公共工事請負金額は、前年同月比9.5%減の190億4,200万円となりました(2ヵ月ぶり減)。今年度累計値では、11.4%増となっています。

発注者別でみると、「市町村(同36.0%減)」や「その他の公共的団体(同42.6%減)」は前年同月を下回りました。一方で、「国(同57.0%増)」や「沖縄県(同3.4%増)」、「独立行政法人等(同15.2%増)」は前年同月を上回りました。

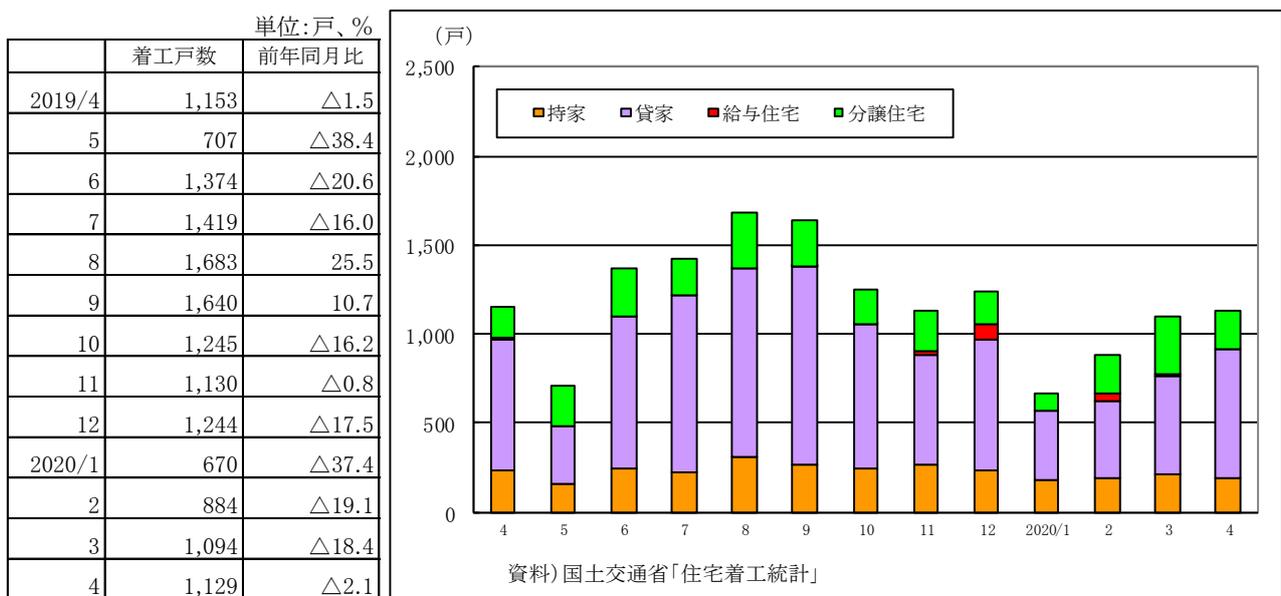
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、正確にて修正される場合がある

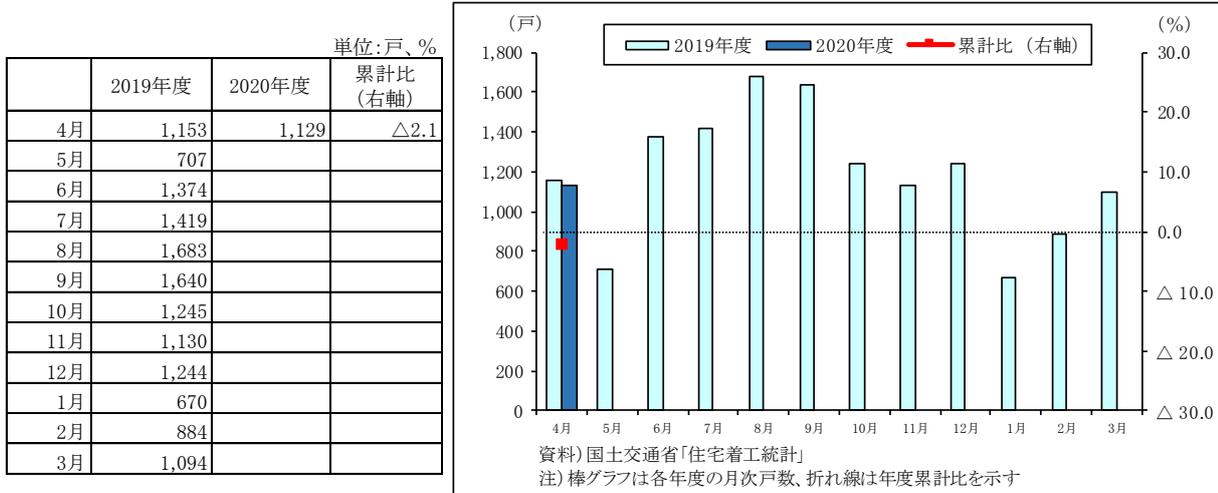
建設資材関連では、生コンの出荷量は23.5%減と4ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向けは、中南部地区における空港関連や学校関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より17.7%下回り、民間工事向けは、中南部地区における住宅関連や医療関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より25.8%下回りました。セメント出荷量は22.9%減と7ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資(4月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。



新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比2.1%減の1,129戸となり、7ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「持家(同21.3%減)」や「給与住宅(同100.0%減)」、ウェイトの高い「貸家(同0.5%減)」は前年同月を下回りました。一方、「分譲住宅(同25.4%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、単月となりますが 2.1%減となっています。

【参考】

2019年度の**新設住宅着工戸数**は、全体で14,243戸となり12.1%減と前年度を下回りました。利用別戸数を見ると、ウェイトの高い「貸家(同19.5%減)」のほか、「持家(同0.2%減)」は前年度を下回りました。一方で、「給与住宅(同175.4%増(約2.75倍))」や「分譲住宅(同0.4%増)」は上回りました。

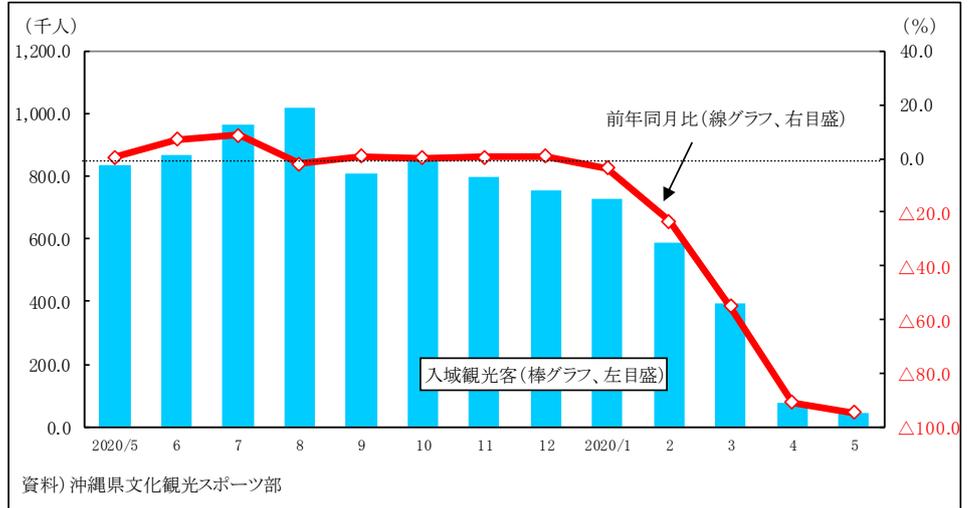


■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・5ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2020/5	834.9	0.5
6	868.2	7.2
7	963.6	8.8
8	1,021.2	△ 1.9
9	809.3	1.0
10	851.3	0.2
11	799.2	0.5
12	755.1	1.0
2020/1	727.8	△ 3.4
2	590.9	△ 23.5
3	396.3	△ 55.2
4	77.3	△ 90.9
5	44.0	△ 94.7

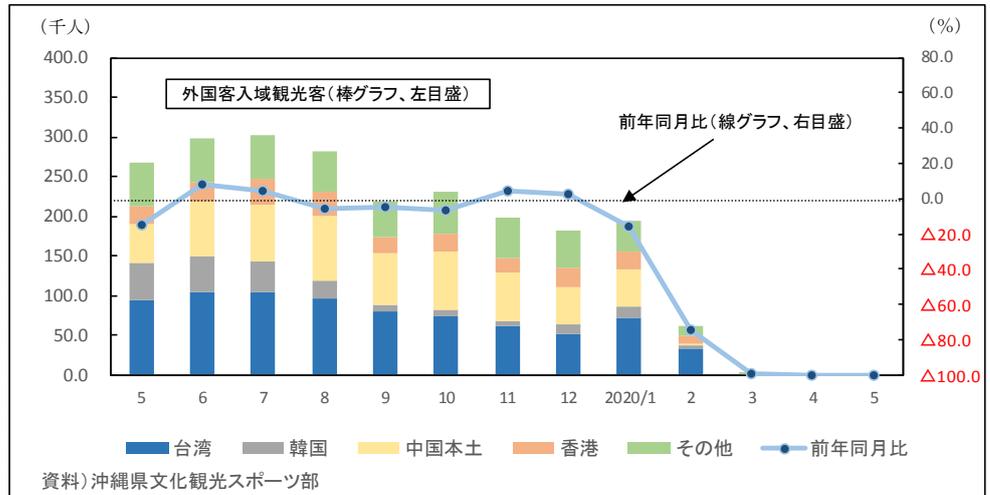
※外国客は乗務員等を含む



外国客 入域観光客数・・・5ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2019/5	268.4	△ 15.1
6	298.4	8.5
7	302.8	4.1
8	282.9	△ 5.7
9	218.7	△ 5.1
10	230.5	△ 6.5
11	199.1	4.2
12	182.4	2.9
2020/1	193.5	△ 15.8
2	61.0	△ 74.6
3	2.4	△ 98.9
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



5月の入域観光客数は、790,900人少ない44,000人(前年同月比94.7%減)となり、5ヵ月連続で前年同月を下回りました。

内訳をみると、「国内客(同92.2%減)」は、44,000人と4ヵ月連続で前年同月を下回りました。航空便の運休・減便に加えて、4月7日以降、国による緊急事態宣言が行われ、不要不急の旅行自粛要請が行われたこと、また、ゴールデンウィークを含む期間、沖縄県知事からも来県自粛を呼びかけたこと等から、前年同月を大きく下回りました。

他方、「外国客(同100.0%減)」は、0人となり5ヵ月連続で前年同月を下回りました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、台湾、中国、香港、韓国等の地域を対象に国による厳しい入国制限の措置が継続されたこと等から、皆減となりました。

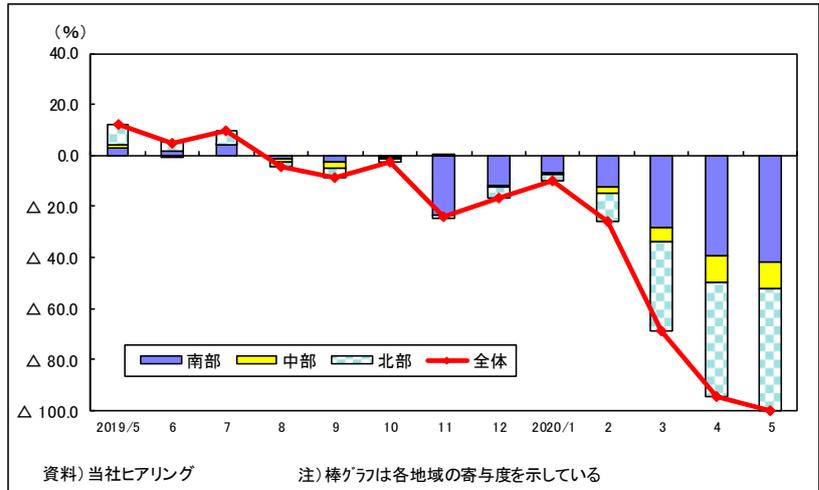
「台湾(同100.0%減)」「韓国(同100.0%減)」「中国本土(同100.0%減)」「香港(同100.0%減)」

※乗務員等を除く2020年5月実績=全体44,000人(同94.5%減)、外国客0人(同100.0%減)、国内客は変わらない。

② 観光施設入場者数・・・10ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2019/5	12.0	6.4	11.1	17.6
6	4.6	3.5	△ 6.7	7.8
7	9.8	10.8	2.8	10.3
8	△ 4.2	△ 4.1	△ 11.2	△ 3.0
9	△ 8.7	△ 6.3	△ 25.2	△ 7.1
10	△ 2.7	△ 1.5	△ 9.4	△ 2.4
11	△ 24.2	△ 51.7	3.8	△ 3.3
12	△ 16.7	△ 27.7	△ 6.8	△ 8.8
2020/1	△ 10.1	△ 16.4	△ 6.7	△ 5.3
2	△ 25.7	△ 31.6	△ 23.7	△ 21.3
3	△ 68.5	△ 68.8	△ 52.9	△ 71.8
4	r△ 94.7	△ 95.6	r△ 94.7	△ 93.9
5	△ 99.9	△ 100.0	△ 99.6	△ 99.9



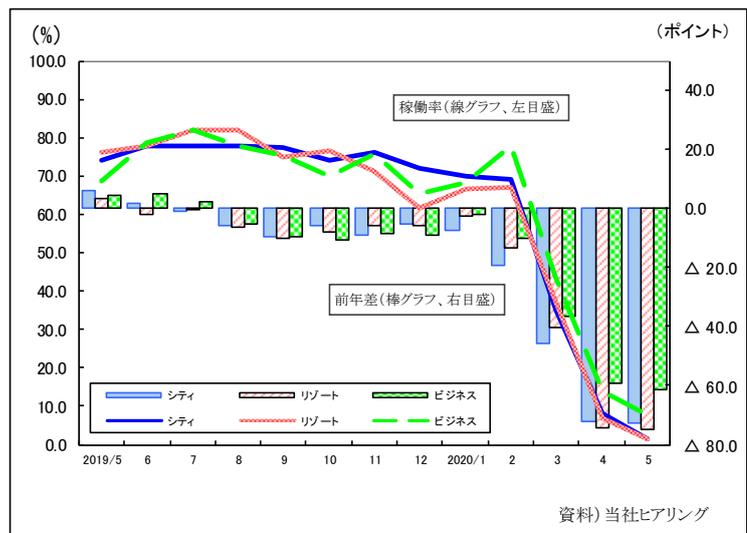
※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
 ※2019年3月より、北部の対象施設数に変更(5⇒4)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より99.9%減少(10ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同100.0%減と10ヵ月連続、中部は同99.6%減と6ヵ月連続、北部は同99.9%減と10ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

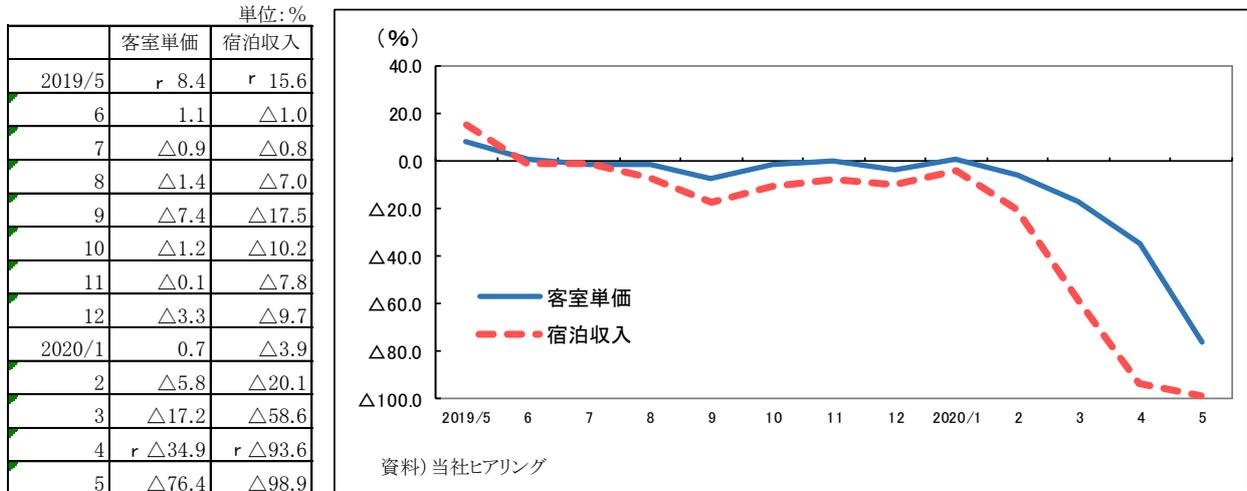
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2019/5	74.2	76.2	68.8	6.3	3.3	4.3
6	77.8	77.7	78.6	1.9	△ 1.8	5.1
7	77.8	81.9	81.8	△ 1.2	△ 0.4	2.3
8	77.8	81.9	77.6	△ 5.6	△ 6.1	△ 5.4
9	77.5	75.0	75.3	△ 9.4	△ 10.4	△ 9.6
10	74.1	76.4	70.0	△ 5.8	△ 8.0	△ 10.5
11	76.3	71.2	75.6	△ 9.1	△ 5.6	△ 8.7
12	72.1	61.8	65.4	△ 5.2	△ 5.9	△ 8.8
2020/1	70.1	66.8	68.1	△ 7.6	△ 2.4	△ 1.9
2	69.1	67.1	77.6	△ 19.1	△ 13.2	△ 10.4
3	34.9	37.3	43.2	△ 46.0	△ 40.1	△ 36.7
4	r 8.0	r 6.8	13.9	r△ 72.2	r△ 74.6	△ 59.5
5	1.3	1.4	7.6	△ 72.9	△ 74.8	△ 61.2



注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
 ※2019年11月より、ビジネスホテル対象施設数に変更(6⇒4)となったことから、2018年11月以降の数値を遡って改定した。
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが1.3%と72.9ポイント減少(11ヵ月連続)、リゾートホテルが1.4%と74.8ポイント減少(12ヵ月連続)、ビジネスホテルが7.6%と61.2ポイント減少(10ヵ月連続)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

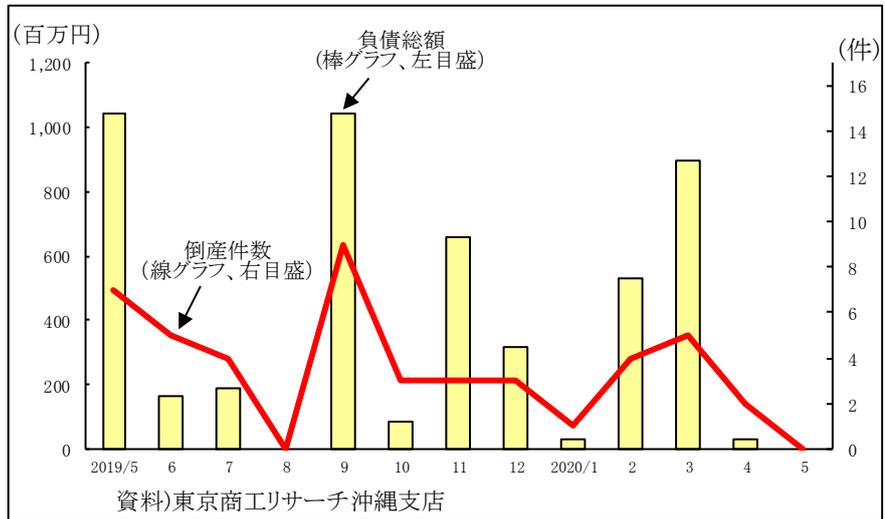
ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 76.4%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同98.9%減と前年同月を下回りました。



■企業倒産： (やや良い)
企業倒産・・・発生なし。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2019/5	1,042	7
6	163	5
7	190	4
8	0	0
9	1,045	9
10	86	3
11	660	3
12	318	3
2020/1	30	1
2	530	4
3	897	5
4	30	2
5	0	0



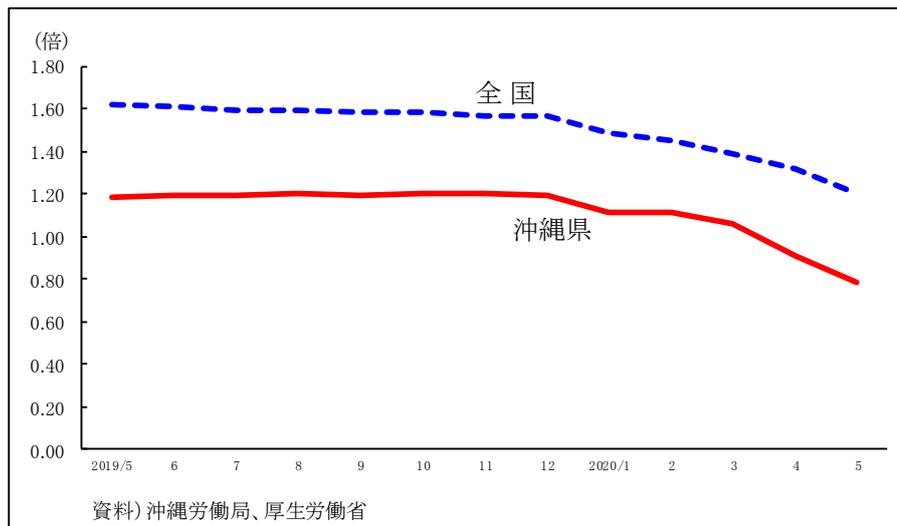
5月の企業倒産件数は、発生なしとなりました。倒産件数がゼロとなったのは2019年8月以来、3度目となりました(東京商工リサーチ沖縄支店 集計による)。



■雇用関連： (やや悪い)
有効求人倍率・・・沖縄、全国はともに前月より低下。

単位:倍

	沖縄県	全国
2019/5	1.18	1.62
6	1.19	1.61
7	1.19	1.59
8	1.20	1.59
9	1.19	1.58
10	1.20	1.58
11	1.20	1.57
12	1.19	1.57
2020/1	1.11	1.49
2	1.11	1.45
3	1.06	1.39
4	0.91	1.32
5	0.78	1.20

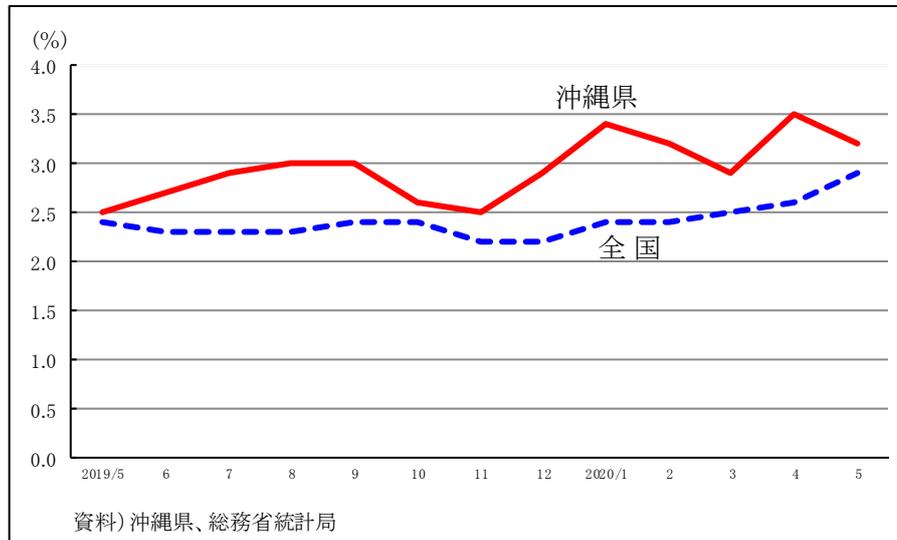


注) 季節調整済

5月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比14.3%減の20,294人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.7%増の26,164人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.78倍となり前月より0.13ポイント低下しました。

完全失業率・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:%		
	沖縄県	全国
2019/5	2.5	2.4
6	2.7	2.3
7	2.9	2.3
8	3.0	2.3
9	3.0	2.4
10	2.6	2.4
11	2.5	2.2
12	2.9	2.2
2020/1	3.4	2.4
2	3.2	2.4
3	2.9	2.5
4	3.5	2.6
5	3.2	2.9



注) 季節調整済

5月の完全失業率(季節調整値)は、3.2%となり前月より0.3ポイント低下しました。